

平成31年度事業計画の概要（小規模事業経営支援事業費補助金）

団体名： 半田商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業計画	主たる対象者	事業評価						備考
				目標①			目標②			
				指標	巡回窓口指導延件数		指標	課題解決提案件数		
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業所の大多数を占め、市内商工業の基盤をなす小規模事業者の持続的発展に努める。また、創業・経営革新への積極的な支援・促進を実施する。このため、窓口での相談指導をはじめ、多忙な小規模事業者の対応を高めるべく積極的に巡回相談指導を行い、7年で地域小規模事業者を一巡するとともに、事業所の課題を把握し、解決提案をする事業計画の作成並びに補助金等申請・手続きの伴走型支援を行う。	・巡回相談指導 5人の経営指導員により、最低限7年に1回は管内小規模事業者を訪問することを基本に巡回指導を行う。また各指導員が課題解決への提案指導事業所を選定し、指導する。 ・巡回窓口相談指導実事業所数 750事業所（経営指導員5人×150件） ・巡回・窓口相談指導延件数 1,750件（経営指導員5人×350件） ・課題解決提案件数50件（経営指導員5人×10件） ・経営革新承認件数4件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数		指標	課題解決提案件数		○
目標数値	1,750	実績数値	目標数値	50	実績数値					
記帳継続指導	市内個人小規模事業者の自主記帳能力を養成し、小規模事業者の経営改善に資することを目指し、記帳から決算申告に至る一貫した記帳継続指導を行う。また、電子申告に対応もしていく。	・指導事業所数 68事業所 ・指導延日数 519日 ・指導延回数 780回	小規模事業者	指標	指導事業所数		指標	指導延回数		
目標数値	68	実績数値	目標数値	780	実績数値					
講習会等	市内事業所の大半を占める小規模事業者が抱える経営上の問題点を解決するために、経営知識の普及の方法として集団講習会を開催し、経営の安定を図る。個別講習会は専門家相談を通じて、事業所の課題解決や事業計画策定・実行支援への助言・指導を行う。また、あいち産業振興機構や金融機関等との連携により、事業承継を中心に相談者発掘等行う。	・集団指導 労働セミナー、簿記初級講座、補助金説明会を含む経営講習会計8回・120人（内経営革新1回・15名） ・個別指導 金融・税務・下請・経営・経営実務・企業再生・労務・法律・情報・特許・登記・高齢者雇用相談 計51回・51人	小規模事業者	指標	集団指導年間受講者数		指標	個別指導年間受講者数		
目標数値	120	実績数値	目標数値	51	実績数値					
創業支援	事業者は当地域経済の活力と雇用の維持の源泉を担っている。当地域の事業者数を増やすことで、地域の振興に資する。創業希望者及び創業5年以内の小規模事業者の知識習得、創業計画策定を支援することで、スムーズな開業へと繋いでいく。また、知多ビジネスプランコンテストへの応募を促し、創業計画を支援する。	産業競争力強化法に係る創業支援事業の実施 ・創業窓口相談（巡回相談含む） 延べ件数60件 ・起業家支援セミナー開催 4日間×6時間 受講者数20人 ・ハンズオン支援 2件 ・知多ビジネスプランコンテスト応募数 3件	創業希望者及び創業後5年以内の小規模事業者	指標	創業相談延べ件数		指標	起業家支援セミナー受講者数		○
目標数値	60	実績数値	目標数値	20	実績数値					
青年部・女性部事業	青年部は次代を担う青年経済人として、若手経営者・後継者・幹部職員等が、人格教養を高め、経営能力の向上と企業の発展を図るため、自己研鑽に資する研修事業と共に、商工会議所活動への参画、協力を通じて地域経済、地域社会の繁栄に貢献する。また、異業種交流の場としての活用で、会員相互の連携と人脈作りへと繋いでいく。また、女性会は、会員の資質向上を図るとともに、女性の視点から職業を通し街の活性化に積極的に取り組む。	【青年部】事業参加率50%以上 ・総会3回（4月、5月、10月）※出席の委任状含む ・役員会12回（毎月） その他事業開催 ・研修会5回開催（5月・6月・9月・10月・1月） ・はんだふれあい産業まつりへの参画（11月） ・イルミネーション、サンタクロース事業（12月） 【女性会】事業参加率50%以上 ・はんだ蔵のまち夏まつり会場「ゆかたのお直しコーナー」（8月） ・ひな祭り事業（3月）	小規模事業者等における若手経営者（後継者等）並びに女性経営者	指標	青年部・女性会研修会事業参加率		指標			
目標数値	50	実績数値	目標数値		実績数値					
若手後継者育成事業（活躍する女性セミナー）	労働人口の減少により、今後ますます社会における女性の活躍が望まれ、女性が働きやすい職場環境など、課題も多く山積する中で、まずは女性自身が行動できる事として、身体づくり、言わば健康づくりである。女性の永遠のテーマ「健康・美」に着目し、セミナーを通して、いつまでも元気に働ける身体づくりを目指し、女性として、そして社会人・企業人としての質を高めて、今後様々とおとずれるビジネスシーンに役立ててもらおう。	・令和元年12月頃 ・㈱ゼロサイトグループ代表取締役 西川真知子 氏（予定） ・目標数値：参加者数22人 ・アンケート調査結果：100%（回収率） アンケート内容は、参加者が、個々の事業にプラスとなったかなどについて確認する。	当所の女性会会員	指標	事業参加者数		指標	アンケート調査結果		
目標数値	22	実績数値	目標数値	100	実績数値					

事業名	事業概要（背景・目的）	事業計画	主たる対象者	事業評価						備考
				目標①			目標②			
				指標	事業参加者数		指標	アンケート調査結果		
若手後継者育成事業 （全国研修会参加）	青年部活動の原点は、会員企業の発展、それに準じ地域経済の活性化を通じた地域貢献にある。会員の資質向上と、会員企業の持続的発展を常に意識した事業運営を行うため、各会員が経営に関する知識や教養を獲得し、自らがレベルアップすることで、社業の付加価値向上へと繋げる。 その中で、全国会長研修会への参加を予定し、各地商工会議所青年部の指導的役割を担う当該年度会長、次年度会長予定者等が、各々が所属する青年部単会の直面課題等について、同じ立場の者同士で意見交換を行うと共に、時流に合った政策提言などについて学ぶ機会を設ける。参加し、得た情報を単会にフィードバックし、新たな人脈を築くことで、青年部組織の活性化、自社企業の発展等へと繋げていく。	・日程：令和元年11月8日（金）～9日（土） ・場所：長野県長野市内 ・参加予定者：半田商工会議所青年部会長、令和2年度会長予定者（令和元年10月末の臨時総会で承認、決定。）、令和2年度専務理事予定者（令和元年10月末の臨時総会で承認、決定。） ※会長と、令和2年度会長予定者は出席義務者。 ・事業規模：全国各地の商工会議所青年部会長等（約1,700名以上）が一堂に会し、各セクションの役割について再確認し、意見交換を行う。また、全国各地から募集されたBPC（ビジネスプランコンテスト）の一次通過者の報告、基調講演なども実施。 ・アンケート調査結果：100%（回収率） アンケート内容は、参加者が、個々の事業及びフィードバックにプラスとなったかなどについて確認する。	当所青年部会長及び、次期指導的立場となる者	指標	事業参加者数		指標	アンケート調査結果		
				目標数値	3	実績数値	目標数値	100	実績数値	
商店街・街づくり事業 （推進室含む）	市内商店街の衰退が進み、中心市街地の活気が無くなっている。そこで関係団体である商工会議所、中心市街地3商店街、市商連、榊はんだ賑わいビル開発、榊トワ・アバンセの5団体を中心となり商店街の活性化・まちづくりと中心市街地の活性化を推進する。また、平成30年度に動き出した地元若手事業者がすすめる中心市街地活性化へのアクションに対し商工会議所として共に取り組んでいく。賑わい創出、商業活性化の各種事業の実施により、中心市街地をはじめとする地域の賑わい創出、まちづくりを支援する。	・まちなか賑わい創出事業、はんだ商業まつり事業 ・半田市商業施設助成事業（不足業種誘致、新規創業者の推進含む）利用数10事業所 ・知って得するゼミナール事業・受講者数300人 ・まちづくり推進室の運営・機能推進 ・中心市街地活性化アクションの支援・推進	中小・小規模事業者	指標	半田市商業施設助成事業 利用数		指標	知って得するゼミナール 受講者数		
				目標数値	10	実績数値	目標数値	300	実績数値	
観光振興・醸すブランド化事業	当地の近代の繁栄を築いてきた産業のひとつである「醸造業」、および生活に根づく「醸造文化」に着目した地域活性化の取り組み「醸-KAMOSU-事業」を生かし、賑わいの創出、販売拡大に繋げることで小規模事業者の振興と経営の安定に寄与。交流人口の増加策を企画し、継続的な事業を実施する。また、地域資源である「半田運河」への年間を通じた誘客を仕掛ける半田市、半田市観光協会等の支援機関と協調し、商品開発支援・販促支援を行い、継続的な仕組みを構築するとともに小規模事業者の「稼ぐ力」づくりを行い、小規模事業者の振興に繋げる。	・商品開発・販売促進セミナー・個別相談会実施 受講者数20人 ・はんだ醸すごはん等関連事業 参加事業者数45事業者 ・知多半島観光協議会への参画	中小・小規模事業者	指標	商品開発・販売促進セミナー受講者数		指標	事業参加事業者		○
				目標数値	20	実績数値	目標数値	45	実績数値	
商談会・ビジネスマッチング事業	展示会や商談会を開催し、市内事業者が参加することにより、事業者の新たな取引先を開拓し、事業の拡大に繋げることを目的とする。事業者の取り組みや新商品等を広く紹介し、ビジネスマッチングの機会を創出する。また、金融機関等との連携を強化し、食のビジネスフェアあいち知多半島メッセに取り組み。	・アライアンスパートナー事業（6月） 商談確定数15件 ・メッセナゴヤ2019（11月） ・三河、知多地域商談会（2月） 商談参加数10事業所 ・食のビジネスフェア あいち知多半島メッセ2020（2月） 出展事業所数40	中小・小規模事業者	指標	アラパー事業商談確定件数		指標	ビジネスフェア出展事業所数		○
				目標数値	15	実績数値	目標数値	40	実績数値	
部会・委員会事業	最近の企業ニーズに合った事業企画を実施し、事業所のレベルアップを図る。 部会・委員会の会議並びに研修会等を通じて事業所間での異業種交流も図られ、経営改善事業との相乗効果が見込まれ、企業発展に寄与する。	部会、委員会の会議・事業を年60回程度開催	中小・小規模事業者	指標	会議・事業実施回数		指標			
				目標数値	60	実績数値	目標数値		実績数値	
検定等支援事業	各種検定試験を実施し、地域の人材育成を支援するほか、地域社会に貢献する。	検定試験の開催 （珠算 3回、簿記 3回、リテールマーケティング2回、カラーコーディネーター2回、ビジネス実務法務 2回、福祉住環境コーディネーター 2回、環境検定） 検定受験者数：1,600人	中小企業従業員や一般市民	指標	検定受験者数（人）		指標			
				目標数値	1,600	実績数値	目標数値		実績数値	

事業名	事業概要（背景・目的）	事業計画	主たる対象者	事業評価						備考	
				目標①			目標②				
福利厚生事業	小規模事業者の健全な経営、雇用を図るため、各種共済制度を普及し、福利厚生の充実を図る。	3～5月、8～10月に実施する「あおぞら共済新規加入者数」を中心に、1年間の共済新規加入者数:150人	中小・小規模事業者	指標	あおぞら共済新規加入者数			指標			
				目標数値	150	実績数値		目標数値		実績数値	
労働保険事業 （労働保険事務組合）	事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を処理することで中小企業事業主の事務負担を軽減するとともに、労働保険の適用促進及び各種制度の推進を図る。	・中小事業主の労働保険事務の代行 委託事業場数 目標250事業場	小規模事業者	指標	委託事業所			指標			
				目標数値	250	実績数値		目標数値		実績数値	
産業団体等指導事業	関係団体の事業を支援し、指導育成を通じて、各事業所の経営力の強化を図る。	会議・各産業団体等事務及び事業支援 半田市商店街連合会 7回、衣浦港振興会 4回、日本珠算連盟半田支部 2回、日東会（工場団地）3回、（公財）日本電信電話ユーザ協会知多地区協会2回	各種団体の会員	指標	事業実施回数			指標			
				目標数値	18	実績数値		目標数値		実績数値	
調査・広報事業	内部環境・外部環境の様々な変化が経営に及ぼす影響は大きく、規模の大小を問わず事業者は常にその動向を探り、適応していかななくてはならない。取りまとめた地域の動向・情報を円滑に提供することにより、経営に資していただく。広報では、会報誌『カイギンョゲッポウ』、メールマガジン等を通じて各種情報の発信を行うことで、事業者の経営の方向性を決定する一助を担う。	・各種景気動向調査 調査先80事業所 ・中小・小規模事業者の振興に資する広報誌（月刊）の発行 ・インターネットを活用した情報提供、ホームページ年間アクセス75,000件	中小・小規模事業者	指標	景気動向実態調査 調査先事業所数			指標	ホームページ 年間アクセス件数		
				目標数値	80	実績数値		目標数値	75,000	実績数値	

※記載内容についての資料は、各団体において整備しています。
※備考欄の○は経営発達支援事業として認定を受けた事業です。